

# コミュニティ ムス

私と人とまちの間に

2021.MAR  
127号

3

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

## “まち”とつながる。 私の場合。

- 2 ママサポートくさつ まちのコミュニティハブ ツナグ
- 4 あの曲が流れていたころ♪ 「蓄音機コンサート」音竹さん
- 6 地元で汗かき、仲間と乾杯 川原町よそじ会
- 8 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～
- 9 より道こ道 大路の移り変わり
- 10 事業団からのお知らせ／まち語り 一枚の写真
- 11 見つけてスッキリ!／事業団からのお知らせ
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第39回 どっちが速い?  
ボイス

笑顔咲く

春は心躍る季節。ジッと堪えることの多かったこの冬を乗り越え、こんな笑顔がたくさん咲き誇る春となりますように。

撮影：おおえちえさん

桜の季節。花見には豊作を祈る意味もありました。「ゴ」は山の神を指し、山の神がおりてくる場所を「くら」といふとか。山の神を料理や酒でもてなすことから始まった花見。花を愛で、共に楽しむ。普通のことを普通にできることが、いかに幸せなことだったのかを知らされた一年が過ぎ、また春がやってきます。

2021.MAR  
127号

3

“まち”とのつながり、なんて気にする人は少ないかもしれません。まずは健康で快適に、できれば便利に暮らせることができれば嬉しいですね。そこに、まちでの楽しみ方ややりがい、人との関わり合いなどで、暮らしの充実感はさらに増しそうです。

今号は自分の好きなこと、得意なこと、できることで、“まち”への一歩を踏み出した3つの「私の場合」を紹介。必見です。



FEATURE

# ママパスポートくさつ ママがつくるママのための情報誌

子育てって楽しいし、幸せを感じる場面も多いもの。でも、悩みや不安はつきないし、たまには自分の時間だつて欲しくなるのも正直なところ。そう、ママパパたちは泣き笑いの毎日の中で色々な情報を求めています。子どもや子育てのコト、今の自分たちに必要なコト、次の休みにいきたいトコ。欲しいのは遠いどこかの話ではなくて、このまちの情報。そんなママパパたちにお届けしたい「ママパスポートくさつ」です。

## 子育て中だからこそ 知りたい

どんなカバンにもピッタリなコンパクトサイズ。思わず手に取りたくなるカワイイ表紙。ページをめくると写真をふんだんに使った洗練されたデザイン。うん、見やすい。持っているだけで楽しくなる情報誌です。

内容も充実です。子どもの検診やママ向けイベントはカレンダーで。親子の会話が弾みそうなママ知識におやつレシピ。習い事特集や子どもと楽しめるおススメのスポット紹介。

夫婦やママ友と行きたい素敵なお店に、復職に向けての準備。もちろん、子どもの体の話や病院の情報なども忘れません。子育て中の今だからこそ欲しい情報がまんべんなくコンパクトに掲載されています。そしてなにより、オシャレ。

地域子育てサポート&ガイドブック「ママパスポート」(ママパス)は守山を皮切りに、大津・彦根など関西の7地域で発行されています。ここ草津でも2019年10月に創刊。3か月ごとに約2000部発行されています。

「ママパス」の特徴はなんといつでも企画編集から取材まで地元のママたちがしていること。つまりママが欲しい情報をママ自身がお届けしているわけですね。

## ママパス誕生の思い

このママパスくさつは市内に住む子育て中のママ、井戸田さん、則武さん、齋藤さんの3人が発起人となり、「まちのコミュニティハブツナグ」として編集発行しています。取材中も実に息の合った3人、さぞや元から仲の良いマ

マ友かと思いきや、「創刊の7カ月前まで共通の友だちを通じて同じLINEグループに入っていた程度」というから驚きです。3人ともやりたいことが同じと直感的に感じたとか。まさにママパス創刊への思いがつかない縁というところでしょうか。

草津での発行を最初に提案した則武さんは小学生2児のママです。「上の子がまだ赤ちゃんのころ、子育てのしんどさを感じていました。結婚を機に草津に came しましたが、産休まで県外で働いていたので、地元知り合いはいませんでした。市内には子育てサークルやお店のイベントもたくさんあったと思うけど、探す気すら起きませんでした。

でも今は、子育て中に色々な



## まちのコミュニティハブ ツナグ

井戸田聖子さん  
則武麻里さん  
齋藤恵子さん

井戸田聖子さん



ことを共感し合える人が地域にいてくれることで、楽しく安心して過ごしています。どこでも積極的に参加できるママもいれば、そんな場にも行かない、行けないママもだっている。守山のママパスを知り、草津にもこんな冊子があれば、当時の私のように消極的になりがちなママにも身近な情報がそと届いて、早いうちに地域でのつながりを持つことができるのでは、と思ったんです」

### 40人のママたち

とはいうものの、本誌でも感じるのは情報誌づくりの大変さ。企画や情報収集、取材・起稿や編集、校正とたくさんさんの工程があります。冊子づくりは初めてという3人のこと、さぞや大変だったのでは。

「基本的な作り方は先輩である守山のママパスから教わりました。テーマなどの大枠や基本

構成は3人で考えますが、情報自体は情報局に集まった40人のママたちが教えてくれます。

『習い事特集が1本足りな〜い』ってLINEで流すと様々な情報をくれます。校正もLINEでお願いしますよ』って人間あるから見ますよ』っていう人や、完成した冊子の配布を手伝ってくれる人も。最近、ママパスを見て育休中だったデザイナーさんから連絡を受け、デザイン・レイアウトをお任せしています」と齋藤さん。

多くのママたちができることで手伝い、一緒に自分たちが欲しい情報誌をつくっているのですね。なんとも強い味方です。

### ママ目線のフィルター

情報局のママたちともLINEでつながっている様子。そう、今やネット・SNSが主流の時代です。あえて冊子にこだわるのはなぜ？

井戸田さんが答えます。

「もちろんネットやSNSとも運動していますが、冊子は手元にさえあれば、見たいときに見られるというのが大きいですね。子育てに行き詰まるネットを検索するといふ人も多いですが、欲しい情報に到達しないことも結構あります。

そればかりか、欲しくなかった情報まで入ってきて、逆に落ち込むことさえあります。私もそうでした。ネットって便利だけど山のような情報の中から、身近に必要な情報を選ぶのは結構難しい。

ママパスは、私たちママ目線のフィルターを通して、欲しい情報や身近な地域情報を届けています。読者ママには、安心して自分のペースでその情報を受け取って欲しいですね」



子育て中は困ったり落ち込んだり、泣きたい気分になることもしばしば。ママの気持ちに共感したり、相談できる人や場所がこの草津にたくさんあることをママパスは教えてくれます。

ママもパパも、おじいちゃんもおばあちゃんも、ぜひママパスを手に出かけてみてください。きっと優しいまちの姿に出会えること請け合いです。

…だって、ママ自身がすでに確認しているのですから。

\*LINE(ライン)

スマホ・パソコン・タブレットなどで使用することができるコミュニケーションツール。

LINE公式アカウント ママパス@くさつ

QRコードから【友だち追加】して登録してね

ママに役立つ地域の子育て情報をお届けします

友だち募集中!





▲写真：大條紘史(編集ボランティア)

前作の朝ドラで、のちに日本を代表する作曲家となる主人公が少年時代に夢中になって聴いていたもの。そう、蓄音機。テレビで見たことはあっても実物を見たり聴いたりしたことのある人は少ないかもしれません。

音楽の楽しみ方がCDから配信へと変わりつつある今の時代に、偶然の出会いから蓄音機に魅せられ、多くの人に生の音を届ける「音竹さん」代表の竹谷さんです。

FEATURE

# あの曲が流れていたころ♪

おんたけ

「蓄音機コンサート」音竹さん 代表 竹谷良一さん

## 蓄音機に魅せられて

ね。もともとオーディオが好きで、家でもよくレコードを聴いていました。電気系の技術職だったから、アンプやスピーカーにもこだわったりしてね。

でも蓄音機から流れる音は今まで聴いたものとは全く別モノでした。蓄音機はレコードから振動を取り出し、増幅させながら直接、音を発生させます。アンプやスピーカーで機械的に増幅させるものとは全く別の世界です。歌い手の息遣いまで届いてくるような柔らかい音、新しい音に会った気がしました」

蓄音機の音に魅せられた竹谷さん。「自分もやってみたい」と蓄音機を購入し、音源となるレコード盤の収集も始めました。蓄音機で使うレコード盤はSPレコードといえます。アームを含めると150〜200gの重さが針の先にかかるので、それに耐えられるよう、いわゆるLP盤よりも固い材質でできています。

また、回転数にも違いがあって蓄音機の回転はLP盤よりも早くなります。硬い盤を早い回転で削るので、針は通常、一曲ごとに交換です。SPレコードは主にネットで購入ですが、取り扱う店を見つけたら京都や大阪にも出向きます。

大阪にある「SPレコード同好会」にも入りました。ここではシャンソン・タンゴ・ラテンなどジャンルごとに、自分のおスプレックスを6〜7曲披露し合います。

「披露するためには曲が作ら

## 偶然の出会い

竹谷さんは現在70歳。5年前に仕事を退職しました。「これからどうしようか」漠然と思いつながら金沢を旅行した時のこと。たまたま立ち寄った蓄音機の博物館で聴いた音に衝撃を受けたのだとか。

「心が震えました。衝撃でした



\* 一分間の回転数はSP盤78回転、LP盤33、EP盤45。



竹谷良一さん

写真：大條紘史(編集ボランティア)▲

旅行先で偶然出会った蓄音機は、竹谷さんの退職後の人生を色濃く変えました。そして、個人の趣味に留まることなく「音竹さん」としての活動を通じて、多くの人に温もりある音と、大切な思い出を届けてくれています。人生の奥深さや妙味を感じますね。

今、竹谷さんの自宅には5台の蓄音機があります。ゼンマイ式の蓄音機はその日その日で調子がちがいで、それぞれのご機嫌を確かめながら今日の1台を決めるのだとか。

ボタン一つ、指先一つで好きな音楽を聴ける時代に、手間ひまかけて1曲に耳を傾け、その喜びを周りの人と分かち合う、そんなぜいたくな時間をご堪能あれ。

こうして様々なジャンルから集めたレコード盤は、いつしか1500枚にもなっていました。盤にはAB面があるので3000曲以上になります。気になるレコードを見つけては、目録を整理して、蓄音機で生の音を楽しむ毎日。

### 自分だけじゃ、もったいない

れた背景なども調べて資料をつくりまします。貴重な情報交換の場だし、知らないジャンルの世界を教えてもらえるので知識の幅がグッと広がります」

「ただ聴いてくれるだけでなく、反応があるのが嬉しいですね。曲によっては蓄音機の音に映

そこで竹谷さんのお母さんがお世話になつている高齢者施設に蓄音機を持参し、音楽会を始めました。蓄音機という個人の趣味から、他の人にも喜んでもらえる活動へと進化したので、蓄音機コンサート「音竹さん」の誕生です。

ところが、です。蓄音機は定年の日常に張りをもたせてくれる趣味にはなりませんが、次第に「自分で楽しむだけではもったいない」と思うようになったのだとか。

音楽は聴く人の思い出とセツトになることが多いから、当時の記憶が蘇るんでしょうね。音楽には人を元気づける力があることを、しみじみ感じます」

音楽は聴く人の思い出とセツトになることが多いから、当時の記憶が蘇るんでしょうね。音楽には人を元気づける力があることを、しみじみ感じます」

像を重ねたりするのですが、スクリーンを指差しながら思い出話をされたり、一緒に口ずさんだり、その曲が生まれた背景やエピソードを紹介すると大きく頷いてくれます。

活動の様子は、えふえむ草津  
草津市コミュニティ事業団提供  
「くさつ☆コミュニ Tea Time!」  
オンデマンド放送でも  
お聞きいただけます。

## しがいち防災研究所 「生き抜くための防災チャレンジBook」 無料配布中!

災害はいつでもやってきます。全国的にもめずらしい消防士OBによる防災NPO「しがいち防災研究所」(本誌121号掲載)では、座って聞だけの防災講座ではなく、実際に「動いて学ぶ」防災講座を展開しています。その中から、ぜひ知ってもらいたい防災アクションをガイドブックにまとめました。市立まちづくりセンターにて無料配布中です。

\*5月からは「キラリエ草津」(5階)にて配布します  
\*このガイドブックの作成発行には「ひとまちキラリ助成」が活用されています

### 生き抜くための 防災チャレンジBook

- ファーストアクション編
  - ・地震のとき
  - ・火災のとき
- レスキュー編
  - ・タンカのつくり方
  - ・ロープのむすび方
- 作ってみよう!! 編
  - ・新聞紙スリッパ
  - ・ダンボールイス
  - ・紙マスク
  - など



Facebook  
しがいち防災研究所  
で検索

# 地元で汗かき、仲間と乾杯

かわら  
**川原町よそじ会** 代表 木村 智さん(57歳)

四十にして惑わず。40代という生活も仕事も大忙しという人も少なくないのでは。充実しながらも時間に追われる毎日。「町内には協力したいけど、時間もなければ、知り合いもいなくて」。そんな声も聞こえます。

一方、町内会では「若い人に手伝ってもらいたいけど現役世代は忙しいから、なかなかね」と高齢の方に負担が集まりがち。なんとも悩ましい話ですね。

川原町には40~50代の住民が中心となる町内会のお助け隊「川原町よそじ会」があります。



▲イメージ

## 人が、家が増える

川原町は笠縫東小の南西に位置する約300世帯の静かな住宅地。生まれも育ちも川原町という木村さんは「約50年前はかなり違う景色だった」といいます。

「子どものころは家が60軒ぐらい。ほとんどが農家でした。周りは田んぼとため池。小学生になると、ため池が埋め立てられ住宅地が変わっていきました」  
笠縫東小や新堂中ができたのが昭和53~55年ですから、このころいかに人と家が増えたかがよくわかります。

当時に比べると約4倍に膨らんだ川原町。川原町よそじ会が生まれた理由もこの急激な人口増にあるようです。

「私が成人するころまではまだ青年団があつて、若者は当然のように入りました。私も23歳まで青年団で地元のことに関わつて、それから仕事に専念しました。」

やがて家庭を持ち、仕事にも余裕が出てくると地元にも目が向くようになったのですが、そのころになると引越してきた人の方が多くて、自分の町内でさえ顔を知らない人が結構いました。町内の活動自体もずいぶん減っていましたね。

それで、私の少し先輩世代が「町内の若手同士が知り合い、できることで町内会の手伝いをしようじゃないか」と会を立ち上げたのが約30年前です。幼馴染だった私たちは、40歳になると自然な流れで会に入りました(笑)」

## 伝承のおでんレシピ

「復活！青年団」って感じの川原町よそじ会。最初にしたのは納涼祭の立上げ

です。「昔は夏になると盆踊りがあつたんです。出店なんかもあつて子ども心に楽しかったですよ。その後、参加者が減つたり、出店で揉めたりとか色々あつたみたいで、いつしかなくなっていました。それで納涼祭を企画したんですよ。子どもたちにも、このまちでの思い出を一つでも多くつくつてあげたくてね」

今は町内会主催となった納涼祭ですが、出店はよそじ会が担当しています。「毎年必ず出すのが、おでん。会に伝わるレシピを見ながら作るんですけど、慣れない者ばかりでつくるもんだから味が定まらないですね(笑)。中には『料理するのはこの時だけ』なんてメンバーもいますが、毎年、完売してくれます」

## 貴重な時間と仲間

納涼祭の他にもお祭りの神輿の担ぎ手など、町内会や地域での男性の手を貸してほしい場面には、よそじ会の登場です。

皆さんの楽しさについて聞きました。「何といつても、終わった後の打ち上げ。これを楽しむために地域で汗をかく感じですよ(笑)」

現在のメンバーは30人。もちろん

ん後から川原町に引越してきた人もたくさんいます。皆この会で顔見知りになったのだから。

「男性って地元で顔見知りをつくるのが意外と難しいもの。だから、この会があつて助かりますね。近所で出会えば自然と立ち話にもなります。空き巣や空き家など、それぞれの組の防犯情報や伝え合つたりして貴重な時

木村智さん



イメージ



▲イメージ▶



間であり、仲間たちです。  
最近では会の中で釣りやバイクなど同じ趣味を持つ人同士でグループをつくって楽しむ人たちもいますよ。こうして地域に住む人たちの顔がわかりだすと、町の役が回ってきたときも積極的に動けると思っています」  
「近所と同じ趣味の仲間ができるって、うらやましいですね。」

ルールをもたない“よそじ会”なので、退会の年齢も決まっています。それでも、おおよそ60歳ぐらいになると皆さん自主的に卒業するのだとか。

実は、よそじ会の卒業者でつくる「まちづくりの会」なるものがあり、そちらに移って道路の清掃活動に参加したり、町内会の役をしたりと次のつながりを育みます。

世代に応じて、まちと、そして人とつながる場のある川原町もまた、まちのこれからのかたちなのかもしれません。

会にはその年の役や連絡網以外は、決まりらしい決まりはありません。これが長く続いてきた秘訣だとか。  
「みんな、最後はやっぱ地元に戻って来たいんですよ。それに、できれば楽しくつながりたいとも思っています。でも忙しい年代です。単身赴任もあれば海外出張の人だっています。できる時にできる人が、できることをする。ぐらいいのいい意味でのゆるさがないと、そもそも楽しめませんからね」  
さあ今日も、地元で汗かいて、お待ちかねのカンパイです。

5/6木

## 草津のまちづくりは次の一歩へ キラリエ草津 オープン!

### 草津市コミュニティ事業団は キラリエ草津に移転します

草津駅東口に新たなまちづくり拠点、草津市立市民総合交流センター（愛称「キラリエ草津」）が誕生します。センターでは大小さまざまな会議室を利用（有料）できるほか、男女共同参画センター・人権センター・少年センター・草津市社会福祉協議会や草津商工会議所なども入り、互いが連携しながら草津での「協働のまちづくり」が力強く進められます。

私たち草津市コミュニティ事業団も、この「キラリエ草津」（5階）に移転し、皆さんとともに草津のまちづくりを進めていきます。ぜひお立ち寄りください。



6F	特大会議室等
5F	男女共同参画センター コミュニティ事業団 会議室 等
4F	会議室 社会福祉協議会 等
3F	人権センター 少年センター 会議室 商工会議所
2F	子育て広場 会議室
1F	会議室 店舗(カフェ) くさつプロムナード 等

(公財)草津市コミュニティ事業団 〒525-0032 草津市大馬路二丁目1-35 (市民総合交流センター5階)

総務G ☎ 565-0404 ☎ 565-1221 ✉ community@kusatsu.or.jp

まちづくり振興G ☎ 565-0477 ☎ 565-0411\* ✉ com-com@mx.biwa.ne.jp

\*まちづくり振興GのFAX番号が変わります。

## くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。  
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り上げられる  
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。  
楽しくも少し考えてしまう。  
もしかして…これって、みんなの問題かも。



### 建て替え

皆さん、ちょっとハリキリ過ぎたようですね。でも、集会所の建て替えなんて町内会にとっては大きなデキゴト。「あれもこれも」と、はやる気持ちもわかります。町内会によっては来るべき建て替えに向けて、計画をたてて費用を別に積み立てたり、補助や助成なんかも上手に活用できるよう、市の窓口で頻りに相談に行ったりするところもあるようです。なにせ、大きな買い物。町内の中で揉めてしまうケースも稀に耳にするので、建て替えに向けての計画とルールづくりはしっかりとしておきたいところです。

当たり前のことですが集会所の建て替えや改修はそう何度もできるものではありません。日ごろは毎年の活動に追われがちですが、ぜひ、この機を捉え、「集会所の建て替え」を切り口にして町内の現状把握や近い将来について考えたいものです。セキュリティ面やバリアフリーをどうするか、防災の視点ならWi-Fi\*やコミュニティFMなど災害情報をいつでも取り入れられる環境が必要かも知れません。高齢化しているまちなら、近い将来のために配食サービスやサロン活動が展開できるキッチンがあれば便利そうです。もしかしたら宅配の集積所としての場面も想定されるかもしれません。これからはコロナ後の新しい生活様式も意識しないといけません。

もちろん金銭面や立地上の制約はありますが、その中で何ができるのか、このまちには何が必要で、集会所にどんな役割を期待するのか、集会所のこと、そしてこの“まち”のことをみんなで考える絶好のタイミングです。こうして町内の皆さん一人ひとりにとっての「私のだいじな場所」として育てていきたいものですね。

これってやっぱり、みんなの問題。

\* Wi-Fi (ワイファイ)

パソコンやテレビ、スマホなどのネットワーク接続に対応した機器を、無線(ワイヤレス)で接続する技術。自宅や職場などでWi-Fiを利用するには、Wi-Fiルーターが必要となる。



さく・com-com / え・まんじゅう

読売新聞

今こそ新聞を読む

読売センター草津西 / 有限会社 雄

〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205

ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索! または、今すぐ右のQRコードにアクセス!

SUMAI

スマイ印刷は、  
自然環境を守る地球に優しい  
製品づくり「エコ印刷」に  
取り組んでいます。

株式会社スマイ印刷 [sumaiprint.com](http://sumaiprint.com)

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890  
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525  
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045



昭40年代、草津駅の東側にはヒカリ屋・平和堂・西友ストアなどのスーパーが進出し、買い物客でにぎわいます。平成に入ると駅前再開発による最初のビル「エルティ932」が、その9年後には草津近鉄百貨店が開業しました。

昭和の終わりに開通したサン通りを国道1号方面に向かうと旧中山道と交差します。右に折れると商店街。かつてはここにアーケードが架かり、かつぼう着姿の主婦が買い物かご片手に行き交いました。

再び小汐井神社からサンサン通り方向(北)へ向かいます。神社横の小道を歩き、信号を渡ったハミングロードの先に「市民総合交流センター(キラリエ草津)」が姿を現しました。この春には子育て広場やスーパーのほか、官民の様々な施設・部署が入居する新たなまちづくり拠点・交流空間として生まれます。



昭和40年代、草津駅の東側にはヒカリ屋・平和堂・西友ストアなどのスーパーが進出し、買い物客でにぎわいます。平成に入ると駅前再開発による最初のビル「エルティ932」が、その9年後には草津近鉄百貨店が開業しました。

再び小汐井神社からサンサン通り方向(北)へ向かいます。神社横の小道を歩き、信号を渡ったハミングロードの先に「市民総合交流センター(キラリエ草津)」が姿を現しました。この春には子育て広場やスーパーのほか、官民の様々な施設・部署が入居する新たなまちづくり拠点・交流空間として生まれます。

さらに東へ。石の鳥居があるのは小汐井神社です。安産・縁結びの神と伝えられ、秋の例祭には狐踊りが奉納されます。鳥居前から旧草津川堤防へと向かうと子どもたちのにぎやかな声。この信愛幼稚園には市内で唯一残るあのヴォーリズ建築の礼拝堂があります。



# より道 こ道



「いつもの道、から一歩それてみる。大人にこそ寄り道の時間が必要だ。」

## 最終回・大路の移り変わり

石田はま子

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！  
**くらしサポートセンターしが草津**がお手伝いします

くらしサポートセンターしが草津  
**くらし何でも相談**  
**TEL:077-564-5512**  
 住所：草津市大路1丁目1-1 エルティ932 4F 406

電話がかかりにくい場合はこちらへ **センターへの相談は無料です**

**滋賀県労働者福祉協議会くらしサポートセンターしが内**  
**0120-783-455 (くらし何でも相談専用)**

**56** 株式会社 **三井田商事**

**経営理念 迅速・確実・親切**

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。また、弊社は**56周年**を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16  
 TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

## 長寿の郷口八荘 春の催し

### ●初めての手話教室

4月6日(火)～毎火曜日(全10回)

10:00～11:00

参加費 2,000円 定員 7人(先着順)

### ●楽しく弾こう! 初めてのウクレレ教室

4月7日(水)～毎水曜日(全10回)

10:00～11:30

参加費 2,000円 定員 7人(先着順)

### ●アウトドア「防災クッキング」

もしもの時に役立つ

ポリ袋を使ったパンとおかず作りに挑戦

4月25日(日) 10:00～13:00

参加費 大人 800円 小学生以下 200円

定員 10組(先着順)

すべて申し込みは3月18日(木)～

●申込・問合せ●長寿の郷口八荘 ☎563-5021



ひとまちキラリ

# まちづくり 活動助成 2021

## 採択団体 決定!

草津市コミュニティ事業団では市民による自主的・公益的なまちづくり活動に助成しています。今年度は次の5団体への助成が決まりました。今春からの活動をご期待ください。

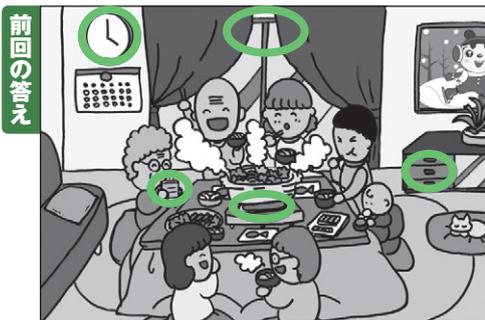
### 「はじめの」 いっぽ部門

- **志那中町誌編さん委員会**  
志那中町誌編さん事業・公開講演会
- **ポッチャいきいき会**  
ポッチャで健康維持
- **MKLab 南草津**  
3Dプリント技能者の育成による自助具の製作と子どもたちの未来のモノづくりを応援

### 「そのさき」 いっぽ部門

- **草津てるてるクラブ**  
草津ログハウス遊・学・SOU 新しい里山ネットワークづくり
- **音と花と人と**  
第6回・第7回「音と花と人と」の集い
- **問合せ** ● (公財) 草津市コミュニティ事業団(まちづくり振興グループ)  
草津市西大路町9-6  
☎565-0477 ☎562-9340  
HP まちサポ <http://kusatsu-spp.net>

たくさんのご応募ありがとうございました。



※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することはありません。

## まち語り 一枚の写真



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。その一瞬を捉えた一枚の写真から「これから、のコミュニティを見つめます。

## 桜まつり

桜並木の下、草津川の堤防に集まって画面右側を見つめる人々。昭和34年(1959)の「草津桜まつり」の様子を撮影したものです。桜まつりは昭和23年(1948)、戦後の市民生活にやすらぎとのおいをもたらしべく市の商工会と観光協会の共催で始められ、毎年桜の開花に合わせて開催されていました。人々の視線の先は写っていませんが、この年に配られたチラシによると、川堤では演芸会やモデル撮影会が開催されていたようです。全3日間の日程が生まれ、初日にはボーイスカウトの行進と草津音頭の練踊大会も行われています。

ねりおどり



そもそも、初めて草津川の堤防に桜が植えられたのは明治43年(1910)のことでした。当時の草津尋常高等小学校(今の草津小学校)生徒の卒業記念に、300本の桜が植樹されたのが始まりです。卒業生一人に1本の植樹は大正6年(1917)まで続けられ、草津川堤防は桜の名所となったのです。

その後、桜並木は木の老齢化と護岸工事による伐採によって50本程度にまで数を減らしてしまい、昭和44年(1969)には桜まつりも中止となりました。これに代わって同年4月に始まったのが、現在まで続く「くさつ宿場まつり」です。一方、桜の木も現在では再び数を増やし、多くの人が訪れるお花見スポットになっています。

文・草津宿街道交流館



# 見つけ ズキリ!



体操・お祭り・防災活動…。地元の公園は、みんなのふれあいと憩いの場所。今日は町内のみんなが集まっての公園清掃。手分けしてゴミを拾い、草を刈り、花を植えています。季節も楽しめる心地よい場所へと、みんなで公園をつくっていきます。

下のイラストには上のイラストとちがう部分が5か所あります。ちがう部分を答えてね。



イラスト：大村恵（編集ボランティア）

## 応募方法

ハガキに①答え②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

※切 **3月31日(水)** 必着

**宛先** 〒525-0037 草津市西大路町9番6号  
(公財)草津市コミュニティ事業団  
「コミュニティくさつ3月号」係  
☑ com-com@mx.biwa.ne.jp  
☎ 562-9340



## プレゼント

応募いただいた中から抽選で、草津川跡地公園 ai彩ひろば「Strawberry Factory」(北山田町)で利用できる優待券(1,000円相当)を5名様にプレゼント。



## 草津クリアホール

4/24

近江の春 びわ湖クラシック音楽祭

# びわ湖ホール 声楽アンサンブル “春”をおくる コンサート

BIWAKO HALL Vocal Ensemble

4月24日(土) 14:00開演

会場 草津クリアホール

出演 びわ湖ホール声楽アンサンブル

入場料 一般 1,000円

18歳以下 500円

## プログラム

- 琵琶湖周航の歌
- 鷗 (かもめ)
- 闘牛士の歌・ハバネラ  
(歌劇「カルメン」より)



## 本誌の発行は年2回へ

本誌はこれまで、町内会・自治会のご協力をいただきながら市内の全戸に配布させていただいてきました。町内会・自治会を中心とした地域のまちづくりを応援する本誌としては、町内会・自治会の皆さんの負担を少しでも軽減するため、令和3年(2021年)度からの発行について次のように変更いたします。

発行回数や頁数は変更しますが、内容をさらに充実させながら草津のまちづくり情報をお届けする予定ですので、今後ともご愛読よろしくお願いいたします。

- 発行回数  
年間 4回→2回 (予定7月1日/1月15日)
- 誌面構成  
A4版 12頁→8頁



\*上記の市域版とは別に小学校区単位の地域版を年1回発行予定(対象地域や発行日は未定)

熊谷栄三郎の

# 徒然草津

つれづれくさつ

第39回  
どっちが速い？

熊谷栄三郎



近年、歩道を歩いているととりわけ腹の立つことがある。私の真横すれすれを勢いよく自転車に追い抜かれることである。

追い抜いていくのは、たいいてい中学、高校の男子生徒二、三人連れだ。最近ではそれが女子生徒の場合も珍しくない。若いお母さんの自転車が前かごに幼児一人、後ろに一人を積んで走っているのを見送ったこともある。

これらの場合、もし、こちらがふらりと二歩横へ踏み出せば、大事故になるだろう。

がたがたと音をたてる、おんぼろの自転車なら後ろに近づいてきたのが分かり、用心するから、まず大丈夫だ。しかし若者たちの自転車はたいいてい、雑音のないように手入れされている。いや、危ない危ない。

今年一月に八十一歳を迎えてから、とくにそのような危険を感じる事が多くなったと思う。さつさとまっすぐに歩くことに自信がなくなってきたからかもしれない。

歩行者と自転車。その関係を考えて、思い出したことがある。

二十年ほど前になろうか。その頃、二人の面白い自転車婆さんを毎日のように見かけたのだ。今の私よりも四つ、五つ年上だったのではないだろうか。

お婆さんはいいつも自転車で乗っていた。というところ、さつそうと自転車で用事をこなしていたように聞こえるかもしれない。違う。ぶらぶら歩きならぬ、ふらふらこぎ。通行人がよけてくれるから、事故に遭わなかっただろう。

私は歩きながら、この自転車のお婆さんを見れば追いついた。追い抜かないまでも、並んで進むことなど珍しくなかった。

なぜ彼女はいつも自転車で乗っていたか。さつさと歩けなくなつて、自転車に頼る方が楽だったのかもしれない。

それにしても、あんなにゆつくり、歩く人より遅く自転車をこげる人はもう草津にはいないだろう。と思い巡らすまでもなく「あつ、いるいる」と顔が浮かんだ。わが顔！

## 読者の声

たくさんのご意見ありがとうございます。

12/15号「若者よ、未来をひらけ。」に寄せられた感想から

- にゃんこおたすけ隊の活動に感動。小さな命を助ける行動がすばらしい。今後もますますがんばっていただきたいです。
- こんな身近な場所で猫たちを必死で守るすばらしい活動を知り、とても感動しました。募金箱を見つけたら必ず募金します。
- 山田の挑戦の記事で、若手の意見を取り入れプロジェクトが進んでいることがよくわかりました。「がんばって」と励ましたいです。
- 澁川小学校の石けんづくりの奮闘・あきらめない心・できあがった喜び…。目に浮かぶようでとても興味深く読みました。
- 木瓜原遺跡の記事を読み、滋賀には古い歴史があると改めて気づかされました。萩の花が咲く季節にはこの記事を思い出しましょう。
- 徒然草津のように英単語が氾濫しているのを感じます。日本語の表現の多様さや美しさが損なわれていくのも世の流れでしょうか。伝統や文化の継承も努力しないと次第に失われてしまうでしょうね。

## にゃんこおたすけ隊

前号で紹介した高校生ボランティア団体「にゃんこおたすけ隊」による保護猫の譲渡会が開催されます。



3月28日(日)  
10:00~16:00  
長寿の郷ロクハ荘  
(中庭)



詳しくは  
<https://twitter.com/nyankootasuke>

# ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

## 子どもころ夢中でした



ロクハ公園



ロクハ荘



まちセン

アマカホール



「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

